



プラグコードを銅線を残して被覆をむきます。



うまく銅線を残して被覆部分のみ切り込みを入れていきます。



切り込みを入れたら被覆部分を引き抜き銅線を露出状態にします。



銅線を指で回し差し込んだ時にバラけないようにしておきます。



銅線を端子の穴に差し込んでいきます。銅線の長さを何度か差し込みカットするなど調整を行ってください。



銅線の長さを調整し、銅線部分が見えない程度にしておきます。



電光ペンチ（弊社でも販売してます）で銅線が抜けないように端子の根元部分をつぶします。



カシメた状態がこちらです。カシメたら端子をひきプラグコードときちんと圧着できているか確認してくださいませ。



プラグの端子を外しねじを露出させた状態にしプラグコードの端子を差し込み、付属のナットをペンチなどでしっかりと固定して完了です